



学部イベントカレンダー

8							9							10						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	保護者懇談会	入試相談会	1				
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		23 ³⁰	24 ³¹	25	26	27	28	29

11							12							1							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
推薦入試出願期間	1	2	3	4	5		合格発表	1	2	3			大学入試センター試験	1	2	3	4	5	6	7	
大学祭	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
						26	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	
						試験日	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	
							25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					

2							3							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
			1	2	3	4	後期日程試験日	1	2	3				
5	6	7	8	9	10	11	前期日程合格発表	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17	
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24	
26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31	

●公開講座／13:00～16:00
「グローバル化と食 ～安全・安心で持続的な生産に向けて～」
受講受付期間：8月5日(金)～9月2日(金)
もしくは定員になり次第
一般市民の方対象の無料講座です。
是非、ご参加ください。

●保護者懇談会(3年生保護者のみ)
保護者の皆さまに学生生活について知っていただくよい機会です。



近鉄「江戸橋」駅時刻表／平日(2011年8月1日現在)

名古屋方面							伊勢中川(奈良・大阪)方面								
赤字	急行	白	白	四	四	無印	赤字	急行	宇	宇	賢	賢	松	津新	鳥
15	02	白06	17	27	白34	44	50	15	02	11	宇21	賢31	松43	津新53	鳥59
16	02	白06	18	27	白33	43	四50	16	02	11	宇21	賢31	松43	津新53	宇59
17	01	白06	18	27	白33	43	50	17	松02	10	鳥21	賢31	43	47	鳥59

三交バス「大学前」停時刻表／平日(2011年8月1日現在)

津駅方面 ★：ノンステップバス(車椅子をご利用のお客様は予約なしでご利用頂けますが整備等でノンステップ車両で運行しない場合がございますので、事前に営業所までご連絡下さい)

15	05	★08	21	23	38	51	53
16	08	21	23	36	38	51	53
17	10	18	21	30	★50	51	

三重大学生物資源学部

オープンキャンパス

GUIDE BOOK

2011
8/3 水
10:00
16:00

- 2 タイムテーブル
- 3 研究室自由見学について
- 4 体験授業
- 5 学部長コラム
- 6 ブース紹介
- 8 生物資源校舎案内図&研究室紹介
- 14 非開放研究室からのコメント
- 15 メモ&入試過去問題
- 16 学部イベントカレンダー

★アンケート用紙はお帰りの際、回収箱にお入れください



タイムテーブル

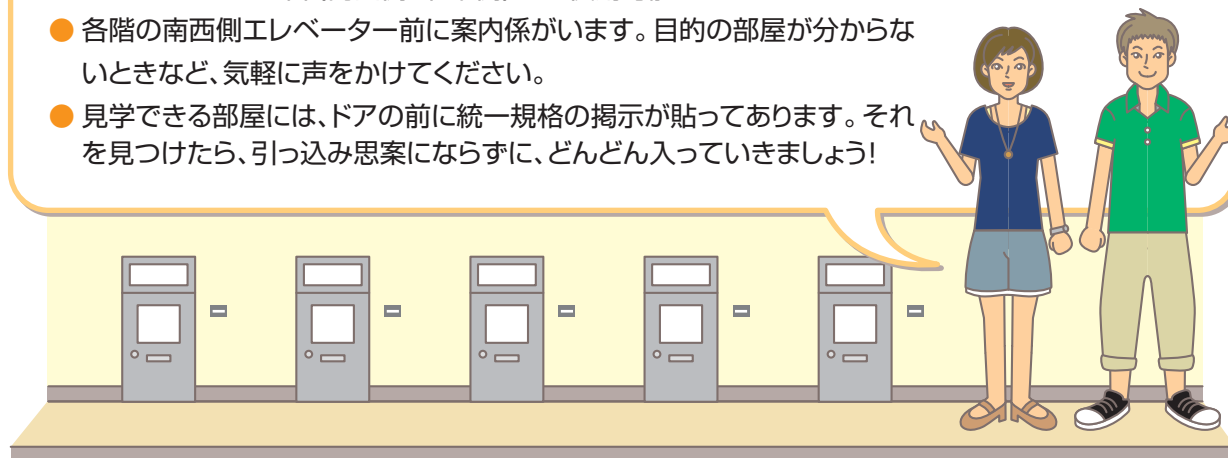
憧れの
キャンパスライフを先取りできる
貴重なイベントが盛りだくさん。
スケジュールをしっかり把握して、
効率的にまわろう!

内容	実施場所	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
学部紹介DVD	講堂 大ホール		10:40~11:00					
学部紹介等	講堂 大ホール		11:00~11:40					
体験授業①	大講義室			12:30~13:00				
体験授業②					13:30~14:00			
体験授業③							14:30~15:00	
体験授業④	211				13:00~15:30			
学科紹介ブース	216, 219, 220				12:00~16:00			
フィールド サイエンスセンター 紹介ブース	217				12:00~16:00			
学生生活 紹介ブース	118				12:00~16:00			
男女共同参画室 紹介ブース	117				12:00~16:00			
なんでも 相談コーナー	125				13:00~16:00			
研究室 自由見学	3F~7F 全61 研究室				13:00~16:00			



研究室自由見学について

- どの研究室がどこにあって、どんな事をしているのか、階ごとに8ページ以降に書いてあります。
- エレベーターは2台（南西側、北東側）とも使用可能です！
- 各階の南西側エレベーター前に案内係がいます。目的の部屋が分からないときなど、気軽に声をかけてください。
- 見学できる部屋には、ドアの前に統一規格の掲示が貼ってあります。それを見つけたら、引っ込み思案にならずに、どんどん入っていきましょう！



「研究室がいっぱいありすぎて、どこに行ったらいいかわからない…」

「どうも自分で勝手に入っていくのは気が引ける…」



という人に。

お気軽に学科ブースを尋ねてください。

資源循環学科
2階 216

共生環境学科
2階 219

生物圏生命科学科
2階 220

注意!!

- 安全のために装置や機械・薬品等に許可なく触れないでください。興味があるときは教員や学生に一声かけてから!
- ベランダに立ち入ったり、廊下の窓から乗り出したりしないで!
- その他、緊急の場合も含め、スタッフ（ネームプレートを付けています）の指示に従ってください。



体験授業

各学科のスペシャリストの先生が行うミニ講義です。今回限りの特別講義。お見逃しなく!

① 生物圏生命科学科 【場所】大講義室 【時間】12:30~13:00 名田 和義 准教授

おいしい野菜の秘密を探る

毎日の食卓を副菜として飾る野菜は、ビタミン・ミネラルや食物繊維を豊富に含み、私たちの健康維持のために大変重要な食品です。おいしい野菜づくりには、まずは健全に成育させることが基本であり、「光合成」を高く保つことが必要です。しかし、それだけでは「おいしさ」という意味での高品質野菜にはなりません。どのようにしておいしく、健康維持機能成分が豊富な野菜ができるのか、その秘密と取り組みを紹介します。



② 共生環境学科 【場所】大講義室 【時間】13:30~14:00 松尾奈緒子 講師

乾燥地の植物の生存戦略

アジアの乾燥地では砂漠化が進行しており、その対策として緑化が行われてきました。しかし、植栽が簡単であったり成長が早かったりする植物（その多くは外来種です）を用いて緑化を行った結果、地下水位の低下や在来種の駆逐など新しい問題が生まれました。そこで、乾燥地の在来植物の生理生態を理解し、その特徴を考慮した緑化を行うことが求められています。今回のミニ講義では中央アジアや中国などの乾燥地の現状と、そこで見られる乾燥地植物のユニークな生存戦略について紹介します。



③ 資源循環学科 【場所】大講義室 【時間】14:30~15:00 水野 隆文 准教授

メタロファイト(重金属超集積性植物)の研究とその利用

鉱山など重金属を多く含む土地には、体内に非常に高い濃度の金属を貯めこむことができる変わった植物が存在します。このような植物は重金属超集積性植物(メタロファイト)と呼ばれ、その特殊な能力が世界各地で研究されています。今回はメタロファイトを使って土壌中の有害物質を取り除く技術や、レアメタルを集めた植物を資源として利用する方法などを紹介します。



④ 共生企画 【場所】211教室 【時間】13:00~15:30(入退室自由) 石黒 覚 教授

人、水、土、生物が共生する環境の改善方法の提案(学生発表)

『先生の講義もよいけれど、普通の大学生の様子はどうなっているのですか?』ということで、共生環境学科・地域保全工学講座の学生(2年次)が最近話題の「人、水、土、生物が共生する環境の改善方法の提案」について発表します。オムニバス形式なので途中から聞いてもOK。オープンキャンパス参加者の高校生や保護者の方もどうぞお気軽に参加ください。飛び入りのご質問、ご意見も歓迎です。出入口はオープンにしていますので入退室は自由です。



学部長コラム

私の進路選択

生物資源学部長 吉岡 基

私は高校3年生の途中で文系志望でした。しかし、「生物」の授業が楽しかったことがきっかけで、以前より興味のあるイルカの研究をしたいと考え、学年途中で理系に進路変更しました。そこから先生を探し、その先生がいる大学・学部を目指すことにして受験勉強を始めました。高校3年生のときに文系から理系に進路を変え大学に合格するほど世間は甘くはありませんでした。1年間の浪人生活の後、志望した大学・学部・学科に進むことができました。大学入学当初は、イルカの音響研究をしたいと考えていましたが、音を調べるには、「物理」の知識が多く必要であることに気づき、やや苦手な「物理」から方向転換しました。当時、水族館でニーズの高かったイルカの繁殖に関する研究に取り組みました。その後もいろいろな壁がありましたが、途中多くの人たちに助けをいただいて、最終的には大学院まで進学し、イルカの繁殖の研究で博士号を取得することができました。

私が上記のような進路選択をした頃は、インターネットによる情報検索はもちろん、オープンキャンパスのようなイベントはありませんでした。大学や先生のことを調べるには、その先生が書いた本や雑誌の記事

をみたりする程度でした。自分が大学で何を勉強したいか、そのためにはどの大学、どの学部にいけばよいのか、まだ決まっていない人も少なくないかもしれません。ホームページから得られる情報と自分の目でみたり、大学の先生から直接話を聞くのとでは、得られる情報量と質には大きな差があります。今日のオープンキャンパスの機会を有効に使って、みなさんの進路がより明確になることを願っています。





ブース紹介

資源循環学科

資源循環学科は、物質循環学講座・循環生物工学講座・循環社会システム学講座の3講座で構成されており、環境やバイオテクノロジーなど様々な基礎教育体制・総合力と応用力を養う教育や研究体制で食料・環境問題の解決に取り組み、循環型社会の実現を目指しております。詳しくは、学科展示ブースのポスターや展示物等をご覧ください。不明な点などは学生や教員にお尋ねください。

開設場所

2階 216

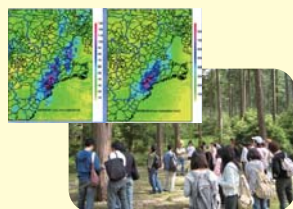


共生環境学科

共生環境学科は、地域保全工学講座、環境情報システム工学講座、森林資源環境学講座、自然環境システム学講座の4つの講座で構成されます。学科のアピールポイントは4つ。伝統、広い学問領域、現場に強い、充実の学生サポートです。学科展示ブースでは、これらのためのわかりやすいポスター、展示物、パンフレットを用意していますので実際に見てみて、触れてみてください。分からないことがあったら共生環境学科の教員や学生に聞いてみましょう。

開設場所

2階 219



生物圏生命科学科

生物圏生命科学科には生命機能科学、海洋生物学、陸圏生物生産学、水圏生物生産学の4講座があります。学科ブースでは教員や学生が、各講座の概要説明をさせていただくとともに、大学生活などの身近な話題なども含め色々な質問にお答えします。また、ハイレベルな研究内容に触れることのできる企画もご用意いたしております。

開設場所

2階 220



FSC&勢水丸

生物資源学部には農場、演習林、水産実験所ならびに練習船「勢水丸」が整備されており、本学部の教育・研究領域である「山の頂から海の底」に及ぶ広範な領域を対象に、教室や実験室で得た知識、課題を確認、検証するフィールドとして機能しています。また、近年は各施設・練習船の他大学への開放や大学ファーム・教育ファームなどの地域貢献活動にも力を入れています。

開設場所

2階 217



なんでも相談コーナー

入試相談室では、教員や入試担当職員が入学試験を中心として、学部での教育や研究内容について、皆さんの質問にお答えします。

開設場所

1階 125



学生生活ブース

生物資源の大学院生が、三重大の学生生活を大公開!担当するのは学生なんでも相談室のピア・サポーターです。

一日の生活スケジュールは?どんな部屋に住んでるの?買い物や食事はどこがおすすめ?アルバイト事情は?など、キャンパスライフの一例を紹介します。

この他、気になることはピア・サポーターに質問を♪

開設場所

1階 118



男女共同参画紹介ブース

生物資源学部・研究科の男女共同参画室では、男女が対等な立場で互いを尊重しながら教育・研究、大学業務などを行うための支援をしています。今回は、その活動の一部を紹介するとともに、本学部・研究科の学生・院生、そして、本学連携大学院である野菜茶業研究所と増養殖研究所の女性研究者の研究課題及び研究成果の一部も紹介します。

フィールドで活躍する彼女たちの活動をとおして、本学部・研究科における男女共同参画の在り方を考えます。

開設場所

1階 117





生物資源校舎案内図

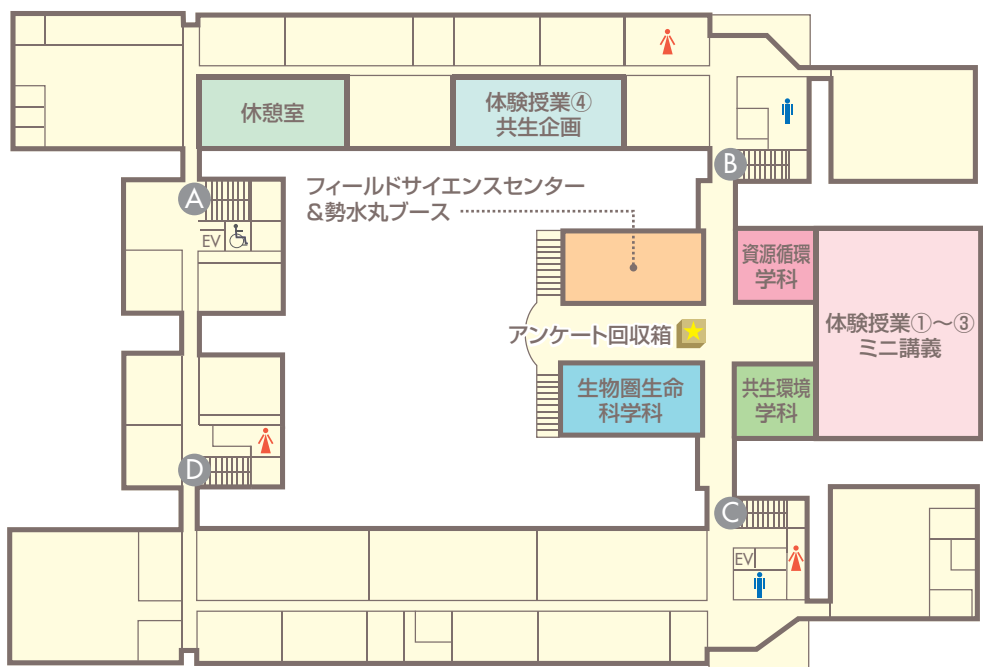
凡例

研究室名 → 1 流域保全学
 学科名 → 共生環境学科
 展示室 → 309室
 研究説明 → 当研究室では、農地土壌の工学的管理技術の開発、劣化

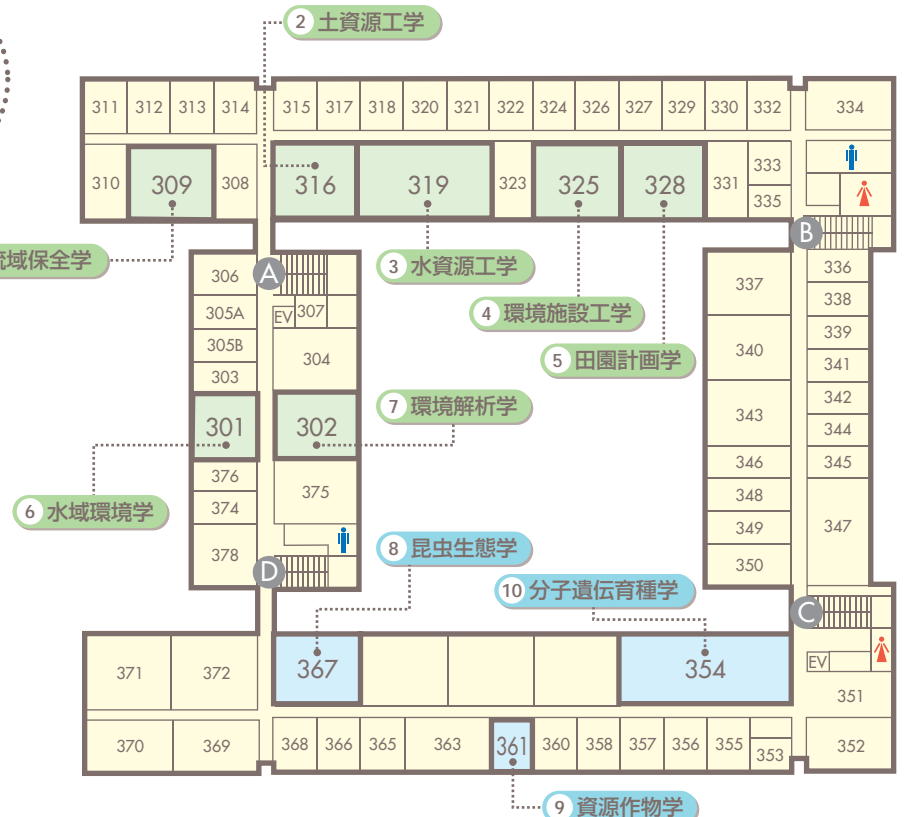
1F



2F



3F



6 水域環境学
 共生環境学科
 301室

水に関する研究をやっています。キーワードは、豪雨、気候変動、水環境、土壌の水、土壌汚染、水利用、治水、渇水、水質、ダム、河畔林、水辺の生物等々です。教員も対応しますので、遠慮なく来てください。

7 環境解析学
 共生環境学科
 302室

附属練習船による観測等に基づいた気象や地球温暖化の調査のほか、GIS(地理情報システム)や衛星データを用いた地域の環境や防災等について研究しています。パソコンと地図を使った実演を是非ご覧ください。

8 昆虫生態学
 生物圏生命科学科
 367室

文字通り、昆虫の生態を研究しています。室内実験では主に寄生蜂の行動を、野外調査では甲虫による花粉媒介などを研究しています。私たちの研究室のありのままの姿をご覧ください。

9 資源作物学
 生物圏生命科学科
 361室

イネ、ダイズ、イセモなど作物の生育特性を調べて、収量を増やす方策や新しい品種の育成に取り組んでいます。開放する実験室内ではいろいろなダイズを展示しています。

10 分子遺伝育種学
 生物圏生命科学科
 354室

主に植物の遺伝子解析や品種改良に関連した研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

1 流域保全学
 共生環境学科
 309室

当研究室では、農地土壌の工学的管理技術の開発、劣化土壌の改善、国際技術協力、沿岸域環境の修復などに関する教育研究を進めています。H22年度の修論・卒論では「サイクロン被災地における農地保全計画、耕作放棄農地土壌の特性、海塩微粒子の陸地供給量、軟X線を用いた粘土ペーストの乾燥亀裂発生過程」などの課題がありました。

2 土資源工学
 共生環境学科
 316室

主に災害から地域を守るための方策や、それに必要な土構造物の安全かつ経済的な設計・施工および維持管理をテーマに研究を行っています。詳細については研究室HPを是非ご覧ください。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

3 水資源工学
 共生環境学科
 319室

最近には、奈良まで行きベチパー草の浮島作りをしたり、県文の講演会を聴講しました。そういう研究室のイベントとは別に卒業研究があります。水質がらみの課題が多く、社会的ニーズを肌感じながら研究します。

4 環境施設工学
 共生環境学科
 325室

この研究室は農業用水に関わる水利施設の設計、施工、維持管理および建設材料の特性などについて研究しています。現在は主に、環境に配慮した建設材料の研究、構造物の非破壊試験法の研究、水利施設の浸透破壊の研究や鉄筋コンクリートの破壊解析などを行っています。

5 田園計画学
 共生環境学科
 328室

地域計画を立てるためには自然環境、人文環境を知らなければなりません。またこれらを適切な評価をしていくことが求められています。美しい田園空間を創造するために必要な自然環境の評価方法、適切なゾーニングのやり方などについて調べています。対象地域は日本のみならず、ドイツ、フランスなどの先進的な計画地域、東南アジア、南アジアなどに広範囲に及んでいます。

1 緑環境計画学
共生環境学科
404室

森林の適正な管理計画を作るために、森林の機能や森林の取り扱いについて調査・研究しています。特に熱帯や乾燥地での樹木の蒸発散量の測定、熱帯での住民参加型植林事業、国内の森林保全、森林認証制度など、世界標準のルール作りを検討しています。

2 生物環境制御学
共生環境学科
411室

太陽や土を使わないで植物を育てる装置を開発し、光、温度、湿度、音、風などの要因が植物の生長に及ぼす影響について研究しています。植物を栽培する作業者を支援するロボットの開発にも取り組んでおります。

3 エネルギー利用工学
共生環境学科
417室

主に自然エネルギーの複合利用や環境に優しいバイオマテリアルの開発に加え、ロボットの研究、オフロード車両の走行性に関する研究も行っています。本日はパネルを用意していますので、ご覧ください。適宜質問にお答えします。

4 応用環境情報学
共生環境学科
424室

食糧・エネルギー生産やリサイクル・物流に関して環境負荷の評価手法に関する研究やそれらを評価・運用する環境マネジメントシステムについて研究を行っています。当日は様々な環境評価を実演します。是非、体験して下さい。

5 システム設計学
共生環境学科
427室

環境負荷が小さい生物生産システムや機械システムなどに関して教育・研究を行っています。例えば、養殖魚の自発摂餌システム、生物生産用知能ロボット、設備の健康状態が分かる診断器などの研究。詳細については研究室HPを是非ご覧ください。

1 森林環境資源利用学
共生環境学科
505室

森は生物の棲む場所です。その中の少しの部分では人は自然から借りて生きています。私達の研究室では、欲張って人がたくさん森の資源を使ってしまう、荒らしてしまわないように、適切な木の伐り方、伐る場所、伐る量などをフィールドでの調査や数学、GIS、リモートセンシングを使った方法で研究しています。

2 森林環境砂防学
共生環境学科
502室

私たちは、土石流、山崩れなどによる土砂災害を減災するための研究を行っています。2008年の岩手・宮城内陸地震、2009年の山口県防府市周辺での災害など、地震や豪雨などによる土砂災害は壊滅的な被害をもたらします。土砂災害のメカニズム、減災の技術と戦略に興味ある皆さん一度、研究室にご来室ください。

3 応用行動学
生物圏生命科学科
517室

黒潮や沿岸の海況を観測したり海の中へ透過する光を計測し、実験室内にこれらを再現してエビ・カニ類や魚の生態との関連を研究しています。本日は観測や実験の様子を写真で公開し、適宜質問にお答えします。

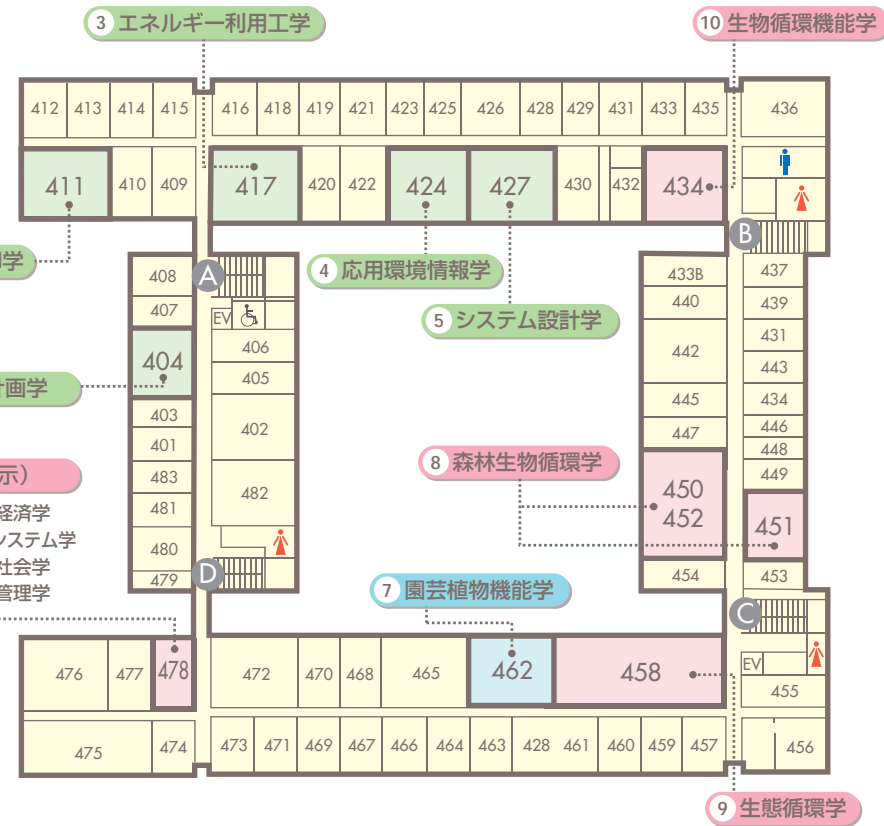
4 水圏資源生物学
生物圏生命科学科
530室

二枚貝類、魚類を材料に水生生物の発生、遺伝に関する研究を行っています。当日は、「顕微鏡で探る未知の世界」としてプランクトンから魚に至る水生生物の不思議について展示説明を行います。また、当研究室の活動内容についても紹介します。

5 海洋生態学
生物圏生命科学科
540室

干潟・砂浜から深海、南極までの貝や甲殻類の生態や保全に関する研究を行っています。野外調査を通じて、生きた生物に触れられます。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

4F



5F



6 (合同展示) 資源循環学 478室

生物資源経済学
最近大きな問題となっている食料問題や資源・環境問題を解決するためには、新たな技術開発とともに、それに対応するように社会の仕組みを変えていく必要があります。この研究室ではそのような社会の仕組みを教育・研究しています。

資源経済システム学
食料産業としての「安心・安全」を保障する水産物の生産・流通・消費のシステムのあり方を中心に、漁村に調査に出かけ、漁業者からいろいろお聞きします。また、今日の海と沿岸域の多面的利用も進んでいますが、具体的な取り組みに関する研究も行っております。詳細について、学科展示でお答えします。

循環経営社会学
生ゴミ堆肥化など食品リサイクルの推進、環境保全型農業経営や企業農業経営の確立などの課題に取り組んでいます。国内外の農業経営や食品関連企業を訪ねて実態調査を行ったり、消費者の食に対する意識を調査したりしています。

地域環境管理学
循環・持続性を目指す地域環境の新しい管理方式においては、「管理主体」である市民・企業・行政・研究者が自主的責任ある行動を果たすことが期待されます。地域の環境問題を解決するために、社会のしくみをいかに変えていくかに関する教育・研究を行っています。

7 園芸植物機能学
生物圏生命科学科
462室

身近な果物や野菜を「よりおいしくするには」「効率よく楽に育てるには?」「暑さなどの悪環境に強くするには?」などのテーマに取り組んでいます。見学希望の方は462号室にご集合ください。研究室のすみずみまで教員や大学院生がご案内します。

8 森林生物循環学 資源循環学
450・451・452室

森に棲む菌類、キノコの生態に関する研究を行っています。本日は研究内容や実験で扱う機器の説明をいたします。

9 生態循環学 資源循環学
458室

熱帯原産の有用植物の生理生態解析を行っています。食料だけでなくバイオ燃料の原料としても注目されているサゴヤンなど、これからの開発が期待されている資源植物を公開します。

10 生物循環機能学
資源循環学
434室

植物細胞壁を分解する研究を遺伝子やタンパク質のレベルで行っています。また牛用の飼料資源について、栄養利用性を調べています。また、詳しくは研究室HPをご覧ください。

6 分子生物情報学
生物圏生命科学科
579室

タンパク質構造の3D体験!コンピュータ・グラフィックスを使って原子レベルでタンパク質の立体構造を見てみよう。
※一部精密機械が設置されていますので、そのエリアについては立ち入りを制限させていただきます。

7 土壌圏循環学
資源循環学
573室

土壌圏中の物質移動のメカニズムを解明し、その移動予測モデルの構築を目指しています。そして、土壌環境問題における保全・改善修復技術の改良や、持続的農業のための土壌中の物質循環の果たす役割の解明を目指しています。

8 森林保全生態学
共生環境学科
570室

森林生態系のしくみを明らかにするために、森林に生育する野生植物の生態と生理に関する研究を主に行っています。例えば、フィールドである森や水辺に通い、樹木めばえの生き残り過程や成長量を測定し、異なる生育条件間で比較します。また、野生植物を異なる環境条件で栽培し、生理特性を比較します。

9 植物感染学
生物圏生命科学科
565室

当研究室では植物の病気の診断、防除およびそれに付随する基礎的な研究を行っています。今回は走査型電子顕微鏡にて植物に寄生する菌類の観察をして頂きます。1回あたり20分、最大5名を4回程度で実施します。

10 動物生産学
生物圏生命科学科
552室

この研究室では動物のホルモン分泌やエサの消化に重要な微生物について調べることで、動物の生産性を高めるための基礎的な研究を行っています。本日はヒツジの第一胃に生息している微生物をお見せします。

1 魚類増殖学 生物圏生命科学科
610室

魚類の生態を解明し天然水域で魚を増やすための研究や外来魚の駆除技術の開発、鯨類の生態・繁殖生理について研究しています。本日は研究資料の一部を展示するほか、研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

2 浅海増殖学 生物圏生命科学科
615室

当研究室では、魚類や甲殻類の餌科生物プランクトンの培養技術の開発や栄養価の向上に関する研究、魚貝類のウイルス病とその予防法の研究をしています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

3 藻類学 生物圏生命科学科
622室

海藻と海草の生理生態に関する基礎研究を行い、その生き方や生態系での役割を解明し、養殖や環境修復に役立てています。培養している海藻等を展示して研究内容をわかりやすく説明します。

4 水族病理学 生物圏生命科学科
625室

魚介類の病気の研究をしています。特に、病気の発生を防止するためのワクチンの開発の研究、および新しく発生したウイルスの病原ウイルスの遺伝子を解析しています。

5 水族生理学 生物圏生命科学科
631室

主に魚類の感覚(視覚・嗅覚・味覚)や行動リズムに関する研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。 ※一部精密機械が設置されていますので、そのエリアについては立ち入りを制限させていただきます。

6 生物海洋学 生物圏生命科学科
644室

植物プランクトンや化学成分など海洋の生産場を支える領域の研究を行っています。本日は実際に顕微鏡による植物プランクトン観察などできます。

1 海洋微生物学 生物圏生命科学科
702・706室

海洋細菌の生態、代謝解析、有用微生物の利用について研究しています。立派な「微生物ハンター」や「微生物の使い手」になるよう、学生は遺伝子解析や高精度化学分析に励んでいます。海洋細菌の培養物や顕微鏡観察が見学できます。

2 水産物品質学 生物圏生命科学科
710室

皆さんが毎日口にする食品の成分分析や食品に残留している薬物や農薬などの検出、さらに魚などの鮮度や品質に関する技術開発を行っています。

3 生体高分子化学 生物圏生命科学科
715室

水生生物の筋肉の特殊な機能について生化学、分子生物学的方法で研究しています。サメ、肺魚、アフリカツメガエル、ムラサキイガイ、アコヤガイをターゲットに研究を行っています。

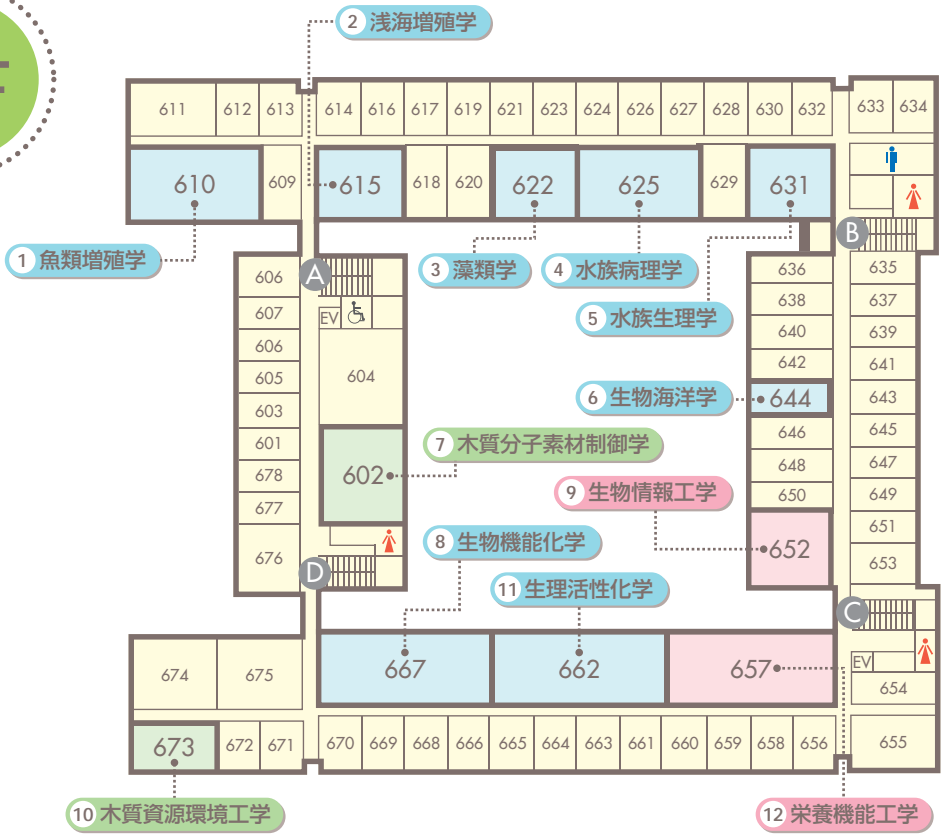
4 生物物性学 資源循環学科
722室

体の全体に血液を運搬している血管の細胞や筋肉の細胞の生理的機能を研究しています。これらの機能に関わるタンパク質やその遺伝子の機能を調べています。また食品の固さや流動性を調べる研究もおこなっています。

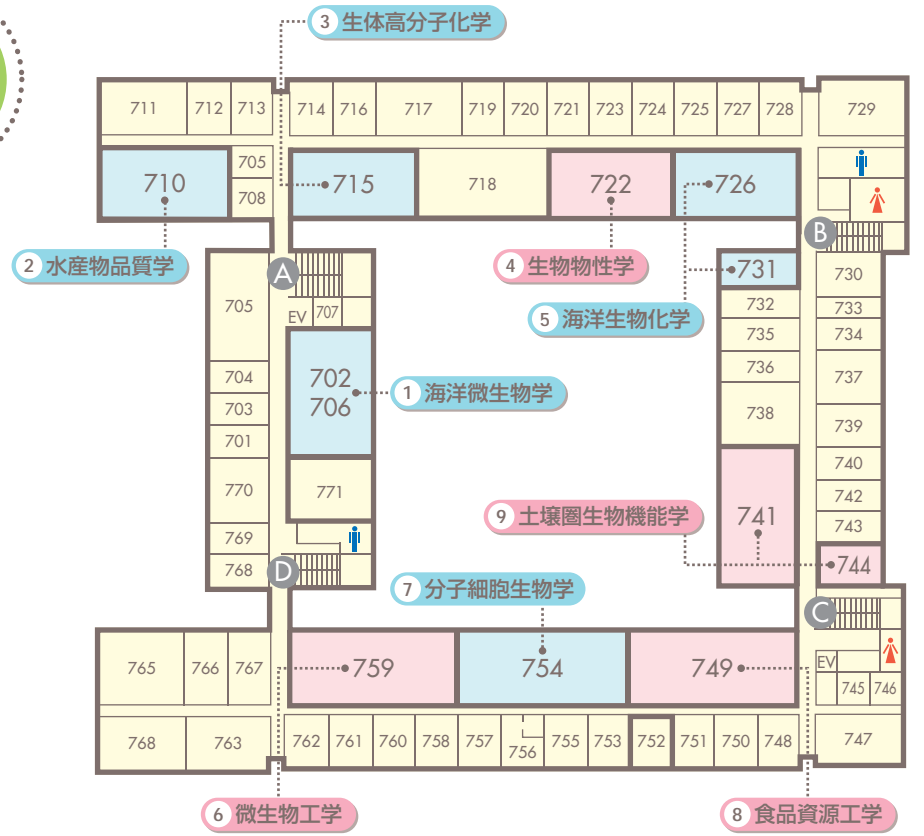
5 海洋生物化学 生物圏生命科学科
726・731室

主に海藻に含まれる機能成分の「美と健康」への寄与に関する研究と、海藻の生命現象のメカニズムを遺伝子やタンパク質レベルで調べる研究を行っています。本日は研究室を公開し、みなさんの質問にお答えします。

6F



7F



7 木質分子素材制御学 共生環境学科
602室

私たちは、化石資源に依存しない持続的な循環型社会を目指し、世界オンリーワンの技術を使って、木材を化学的に機能性分子に変換し、様々な材料を作りだしています。木から紙を作るプロセス、バイオマスや固体燃料として利用したり、バイオエタノールを作ることの違いをお教えします。また未来の科学者・研究者・研究室でお待ちしています。

8 生物機能化学 生物圏生命科学科
667室

生き物から機能性物質を取りだして役立てる研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。 ※実験室内の器具や試薬には許可無くさわらないでください。

9 生物情報工学 資源循環学科
652室

当研究室では、光を利用した生物体や食品の計測とそのバイオ・食品加工プロセスの応用、さらには味見ロボットに関する基礎的な研究などを行っています。詳細については研究室HPを是非ご覧ください。

10 木質資源環境工学 共生環境学科
673室

当研究室では木材の物性や力学的性質および木造建築の構造耐力や居住性に関する研究を行っています。興味のある皆さんは研究室HPを是非ご覧ください。

11 生理活性化学 生物圏生命科学科
662室

生物の世界では様々な瞬間に鍵と鍵穴の関係が活躍します。ウイルス、医薬品、香り、味、など様々な現象を解き明かすために鍵と鍵穴を化学的に研究しています。

12 栄養機能工学 資源循環学科
657室

動植物・微生物から得られた未利用資源を利用し、生活習慣病の予防や健康の増進に役立てています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

6 微生物工学 資源循環学科
759室

主に微生物によるバイオマス利用に関する分子生物学的研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。 ※遺伝子組換え実験を実施中ですので一部見学をお断りする場合があります。

7 分子細胞生物学 生物圏生命科学科
754室

主に動物細胞を用いて、DNA複製や転写、細胞死に関する研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。 ※一部精密機械や化学試薬がございますので、それらについてはお手をふれないようお願いいたします。

8 食品資源工学 資源循環学科
749室

デンプンや食物繊維などの糖質に関する研究や、酵素を用いた機能性糖質の合成に取り組んでいます。また、ストレス耐性酵母を用いたバイオエタノール生産を行っています。

9 土壌圏生物機能学 資源循環学科
741・744室

植物が持つ金属吸収メカニズムを遺伝子レベルで解析しているほか、植物を用いた汚染土壌の浄化を研究しています。詳しくは研究室HPをご覧ください。



非開放研究室からのコメント

学生実習・調査出張・学会などのために、残念ながら本日見学していただけない研究室から、コメントをいただいています。「これらの研究室を見学したかった」という人は、下のコメントや研究室HPなどを参考に、どんな研究をしているのか、どんな研究室なのかを感じてもらえれば幸いです。

食・環境・文化情報学 研究室

資源循環学科

非開放

「食」・「環境」・「文化」を広義の「情報」体系として捉え、農林水産業から観光までを連続的に取り扱う手法を研究しています。具体的には、フィールドでのマルチバンド光による環境情報収集手法、画像による品質・安全・倫理情報伝送手法、観光を意識した空間と時間軸を持つ文化情報表現手法を研究しています。

森林総合環境学 研究室

共生環境学科

非開放

森林と人間社会とのかかわりについて、森林資源の利用と森林環境の保全を同時に行っていくための林業経営、木材加工流通などの経済活動や森づくり等への市民参加による社会活動のあり方を検討しています。

地球環境気候学 研究室

共生環境学科

非開放

「地球の謎を知ることってワクワクするぞ!」気象学をベースとして、地球規模の気象の長期変動や気候変動の仕組みの解明を目指して研究を行っています。学部レベルで気象学の勉強と研究を本格的にできる大学は、中京圏では三重大学だけです。

海洋気候学 研究室

共生環境学科

非開放

当研究室では伊勢湾、黒潮、親潮などの海洋現象や鈴鹿おろし、温暖化による世界の異常気象などを研究しており、コンピュータを用いた数値モデル実験や練習船「勢水丸」などを用いた観測などで研究を進めています。来てください。夢を与えます。

食品機能化学 研究室

生物圏生命科学科

非開放

主に脂肪細胞・組織の機能解明、機能改変を通じてメタボリックシンドロームの予防、改善に繋がる基礎研究を行っています。

海洋個体群動態学 研究室

生物圏生命科学科

非開放

水産資源の管理や水の中の生き物の保全に、生物の量や数の解析を通じて貢献することをめざしています。コンピュータを使った解析や野外調査を中心に研究を行っています。なお、教員が実習のための出張等に対応不可能なため、本日の研究室開放は行いません。

水圏生物利用学 研究室

生物圏生命科学科

非開放

海藻の有効利用や魚類のバイオテクノロジーに関する研究を行っています。

MEMO

Horizontal dashed lines for writing a memo.

生物資源学部
オープンキャンパスへのご参加
ありがとうございました!

